

# スキークラブニュース

2017年4月号

発行責任者

かながわブラインドスキークラブ/会長 T.K.

昨年12月に開催されたシーズンイン研修会に始まった2016-2017年スキーシーズンも終わり、当クラブの2016年度活動行事も滞りなく終えることができました。本号ではそれら報告と2017年度総会のご案内などをお伝えします。

## 2016-2017 スキーシーズン終わる

### シーズンイン研修会報告

役員会/副会長 K.N.・Y.K.

昨年12月10日に、ライトセンターで恒例のシーズンイン研修会を開催しました。

第1部では、日本大学佐藤紀子准教授をお招きして「海外のブラインドスキー事情」のご講演をいただきました。

お話は先生の視覚障害者スキーとの関わりに始まり、アメリカ・スイス・ドイツ・ノルウェイでの7障害者スキー事情のお話があり、海外ではスキーを生涯スポーツとしてとらえ、スキー場・ホテル・スポーツ教師養成など様々な環境が整備されていることが紹介されました。スイスの視覚障害者スキークラブにはガイドマニュアルが作成されており、その誘導滑走の写真も紹介されました。

ブラインドスキーの実情について昨年はサミットで国内事情を、今年は本講演で海外事情を知ることができました。国内でも海外のようにブラインドスキーに優しい環境が整備されていくといいなあ～と感じられたのではないのでしょうか。

第2部では、「私見え方/滑り方」というテーマで五つのグループに分かれて意見交換会を行いました。

ブラインドには見えなくなった経緯や現在の見え方、スキー歴などを紹介してもらった後、どんなスキー誘導が滑りやすいかなど率直に話してもらいました。

パートナーにはこれまでスキー誘導していて「ヒヤッ!」とした、「あちゃー!」「やっちゃまった!」と思ったりした経験を包み隠さず話してもらいました。

弱視者の前走誘導では、ブラインドによって見やすい色が異なるので、ビブスやウェアの色に配慮する必要がある、ターン弧やスピードといった滑り方も後ろのブラインドの滑りを見ながら工夫する必要がある、など、有意義な意見交換ができたようです。

## スキーツアー報告

スキーツアー実行委員 Y. K.

去る1月27日(金)~29日(日)に、新潟県南魚沼郡湯沢町の岩原スキー場へのツアーを実施しました。参加者は、ブラインド13名、パートナー21名、キッズ1名の計35名。東京駅発着の新幹線で移動し、ホテルアルパインに宿泊。

土日とも天候に恵まれ絶好のスキー日和。新人パートナー4名も研修の後早速ブラインドの誘導を体験していただきました。今シーズンのテーマは、安全第一！でしたが、残念ながら土曜日にはブラインド1名とパートナー1名がけがをしまい日曜日には湯治班へ。ちょっぴり残念なツアーとなってしまいました。

帰浜後、臨時でツアー実行委員会を開催し、2月の岩鞍ツアーに向けて再度安全対策を検討。午前午後それぞれ滑走後にヒヤリハットを報告する時間を設ける、夕食は班ごとにまとまって反省会を行うなどの改善策を立てました。

それを受けて、2月18日(土)~20日(月)に、群馬県利根郡片品村のホワイトワールド尾瀬岩鞍へのツアーを実施しました。参加者は、ブラインド12名、パートナー31名の計43名。横浜駅発着の貸し切りバスで移動し、ロジカぶらぎに宿泊。

3日間とも天候に恵まれ絶好のスキー日和。新人パートナー7名も研修の後ブラインドの誘導を見学・体験していただきました。1月岩原ツアーの反省を踏まえて安全第一にツアー運営に当たりましたが、

残念ながら最終日にはブラインド1名がけがをしまい、やはり残念なツアーに。

でも、このツアーで導入したヒヤリハットの洗い出しは、多くの参加者から「やってよかった!」との感想をいただきましたので、来シーズン以降も継続して、クラブの財産にしていけたらと思います。安全第一と口で言うのは簡単ですが、それを実現するのは難しいなあ実感させられたシーズンでした。パートナーの皆さん、ありがとうございました。また来シーズンもよろしく願いします！

## 参加者の声

岩原ツアーに参加して

「きむ爺」こと、K. I.

ブラインドの皆さんが晴眼者のサポートによって普通にゲレンデを滑るという事が信じられなくて、行く前からワクワク、ドキドキでした。そして迎えた当日、ゼッケンが無ければどの人がブラインドなのか分からないゲレンデを見てビックリしている暇もなく研修班の新人には愛の？鞭が振るわれ、疲れ果てた心身に追い打ちをかける深夜に至る飲み会。それら全てが周到に計画されていて、いやはや凄い会社いやクラブに入ったもんだなあというのが正直な感想です。これからスキーのレベルと体力アップして皆さんと一緒に楽しもうと思います。懲りずに面倒みて下さい。

## 高め合うコミュニケーション

大船合気 師範 T.Y.

マラソン伴走にも役立つ教えをご指導いただき、KBSC の皆様に感謝しています。伝統は守るものではなく、築き上げるもの。新たな取り組みの成功の場に立ち会えて光栄です。

合気道においても相手に寄り添い、和する方向へと導きます。お互いにとって、うまく一体化出来た時の喜びはひとしおです。

スキー誘導、マラソン伴走、合気道。高め合うから全員が主役。

私だからこそ出来ること。もっとあるはず。

今後ともよろしくお願いします。

## 岩鞍ツアーに参加して

Y. J.

こんなに緊張感のあるスキーは生まれて始めてです！過去に初心者に教えることは幾度となくありましたが、まあそれとは比べ物にならない緊張感でした。しかし、上手く一緒に降りてこられた時の達成感や満足感はまた格別ですし、一緒に少しずつ上手になっていくのも、とても楽しいですね！また、自分が如何にとっさの行動が出来ないか、痛感しました。この経験を通して自分も成長できると思います！（普段使わない筋肉を酷使したため、筋肉痛が大変でした。）

# Ⅱ. 2017 年度総会と懇親会のお知らせ

## 2017 年度総会

日 時 : 2017 年 5 月 14 日(日) 14:00~17:00

会 場 : 神奈川県ライトセンター 2 階 第 3 講習室 A B

内 容 :

<議事>

1. 2016 年度 事業報告・決算報告

2. クラブ会則改定

第 13 条（会計年度）を以下のとおり改正します

現会則：会計年度は、毎年 5 月 1 日から翌年 4 月 30 日までの 1 年間とする

新会則：会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間とする

3. 2017 年度 事業計画・予算案

4. 2017 年度役員承認

5. その他

<意見交換>

\* 内容については検討中です

## 懇親会

総会終了後の懇親会を今年はライトセンターに向かう途中にある中華料理店(二俣川北口から6分)の「大龍飯店」(045-391-1901)で行います。会費4200円を予定しています。

### 総会出欠席の回答について

- ① ニュースの点字版・墨字版の方は同封した返信回答ハガキで回答をお願いします。
- ② ブラインドの総会回答のハガキは表面の下側に回答者の住所・氏名を書き込んだシールを貼って有ります。ハガキ下表面(宛名の書かれた面)の左角に直径5ミリの穴が空いていますので、その穴を左下にして右上の対角線上の角が総会と懇親会の両方に参加する方、左上が総会だけに出席する方、右下が懇親会だけに参加する方として、1センチ程度斜めに切り取ってください。総会に欠席される方は出欠回答ハガキの文書面に押印又はサインをいただければ議長に対する委任状とさせていただきます。
- ③ 晴眼者は回答ハガキに氏名と通信欄に必要事項を記入ください。

回答はがきの返信は総会の成立にも関わります。毎年回答はがきの返信が少なくて直前まで苦慮しています。返信にご協力ください。

同封の出欠回答はがきは 4月30日までに投函ください。

////////////////////////////////////

#### 【編集後記】

今シーズンは雪の便りはやや遅かったようですが、どのスキー場も雪不足はなかったようです。皆さんはどのようなシーズンを送られましたか。

当クラブの岩原・岩鞍スキーツアーでは、両ツアーともに怪我人が出てしまいました。これまでもスキー実行委員会は安全を第一に取り組んできていました。特に、今シーズンは対策を講じたにもかかわらず、怪我が出てしまったことは事故を撲滅することの難しさを思い知らされたシーズンだったように思います。

ヒヤリハットの陰に多くの事故が潜んでいます。今シーズンの苦い経験を生かして、これからも更なる安全意識の醸成に努めていきましょう。

広報担当 : K. N.

////////////////////////////////////